

はにい『高校生による、小学生への特別授業』

令和8年2月9日

寒川高等学校の生徒11名による、演劇を交えた非行防止教室が行われた。

「あっ、お金が落ちているぞ」

「おなかすいたし、このお金でお菓子買っちゃおうよ」

「そんなのダメだよ。交番に届けなくちゃ」

「大丈夫、大丈夫。買ったお菓子、いっしょに食べる？」

「私がお金拾って買ったものじゃないし、いいのかなあ。ひとつ頂戴」



司会者：みなさん考えてください。これは、悪いことだと思う人は手を挙げてください。悪いことではないと思う人は手を挙げてください。その他、意見がある人は手を挙げてください。

地域のスクールサポーターが、寒川高等学校と寒川町立南小学校をつなぎ、高校生による非行防止教室を実施した。地域の方々、高校の教員、小学校の教員が、子どもたちの学びを温かく見守っている。



演劇を通して考えたあとには、スクールサポーターによる高校生へのインタビューが行われた。

「私が小学生のときにやっておけばよかったと感じることは、算数の勉強です」

「自分は、小学生のころ、もっと外で友達と身体を動かして遊んだり、運動したりしておけばよかったなと感じています」

寒川高等学校の生徒から、南小学校の児童へとメッセージが送られる。

南小学校の児童は、同じ地域の高校に通っている先輩の話に、真剣な表情で耳を傾け、経験談にぐっと引き込まれていく。

「歌を歌ってほしい」「歌って、歌って」授業前は緊張感があつた教室が、最後には高校生のお兄さん、お姉さんに親しみを込め、気兼ねなく話しかけられるくらい、参加者の心の距離が縮まっていた。